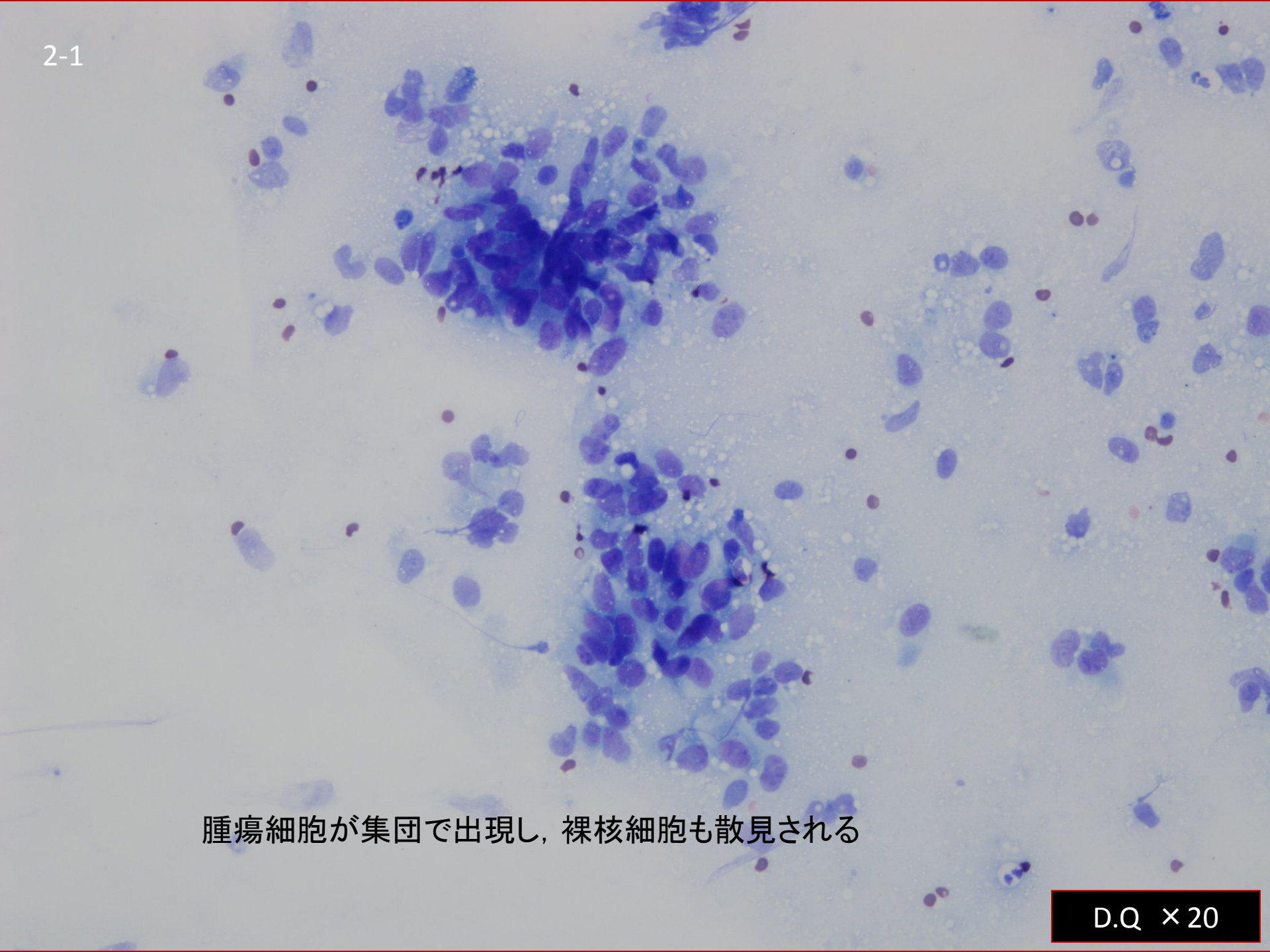
症例　2

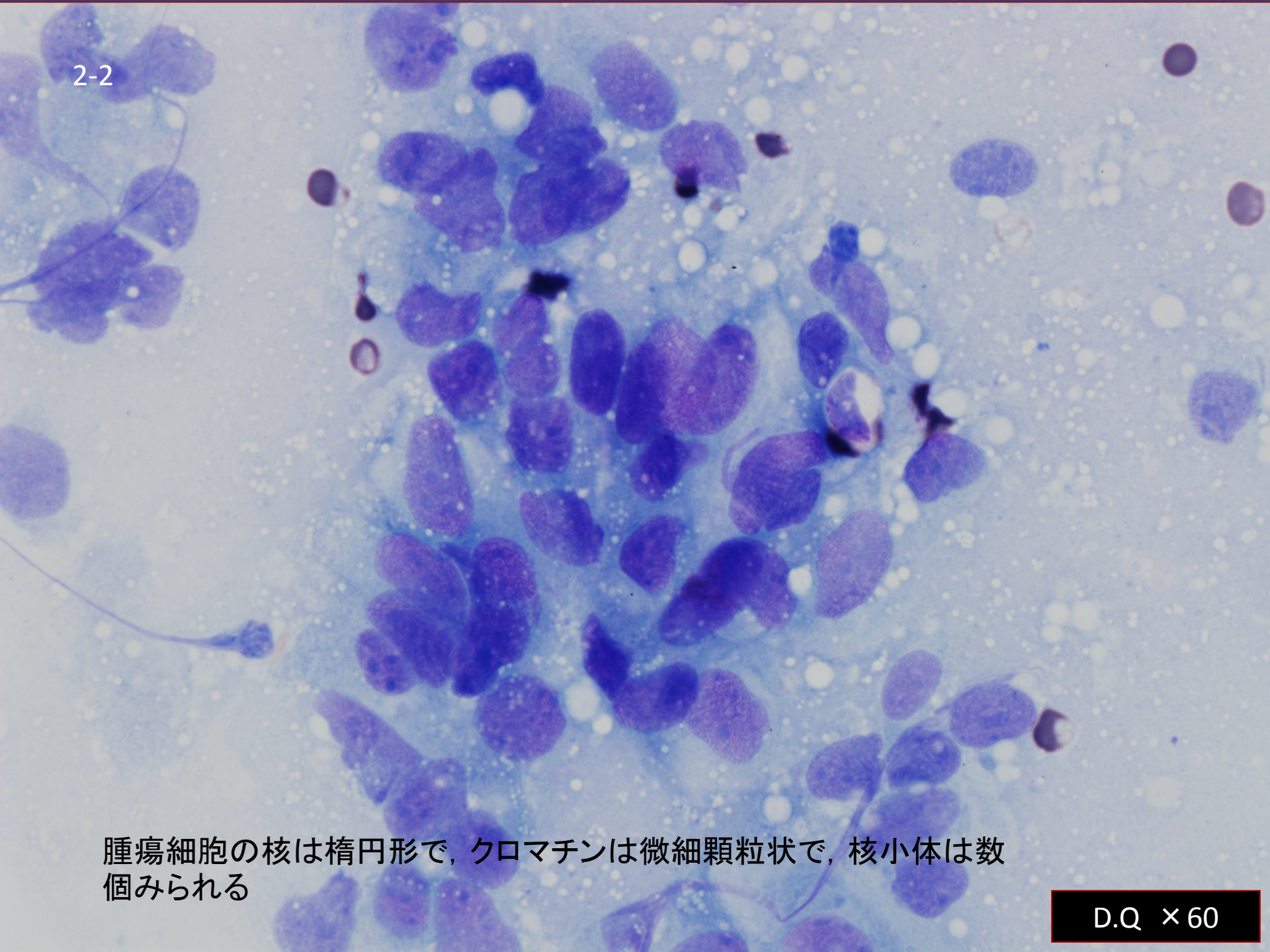
- 60代, 男性
- 胃生検捺印標本
- 臨床診断: 胃腫瘍
- 臨床所見: 胃体上部後壁に深掘れ潰瘍を伴う胃腫瘍

2-1



腫瘍細胞が集団で出現し，裸核細胞も散見される

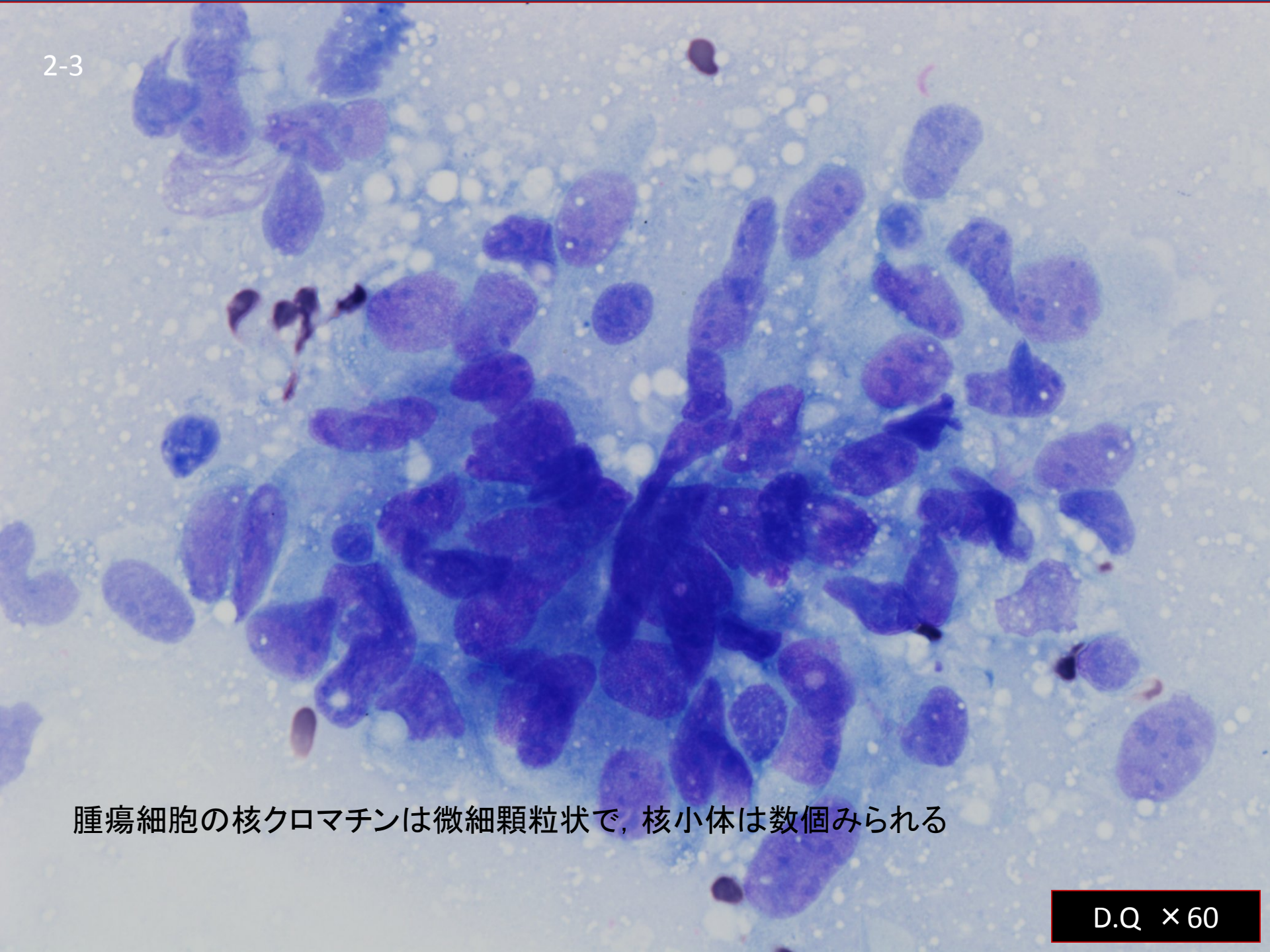
D.Q ×20



腫瘍細胞の核は楕円形で，クロマチンは微細顆粒状で，核小体は数個みられる

D.Q ×60

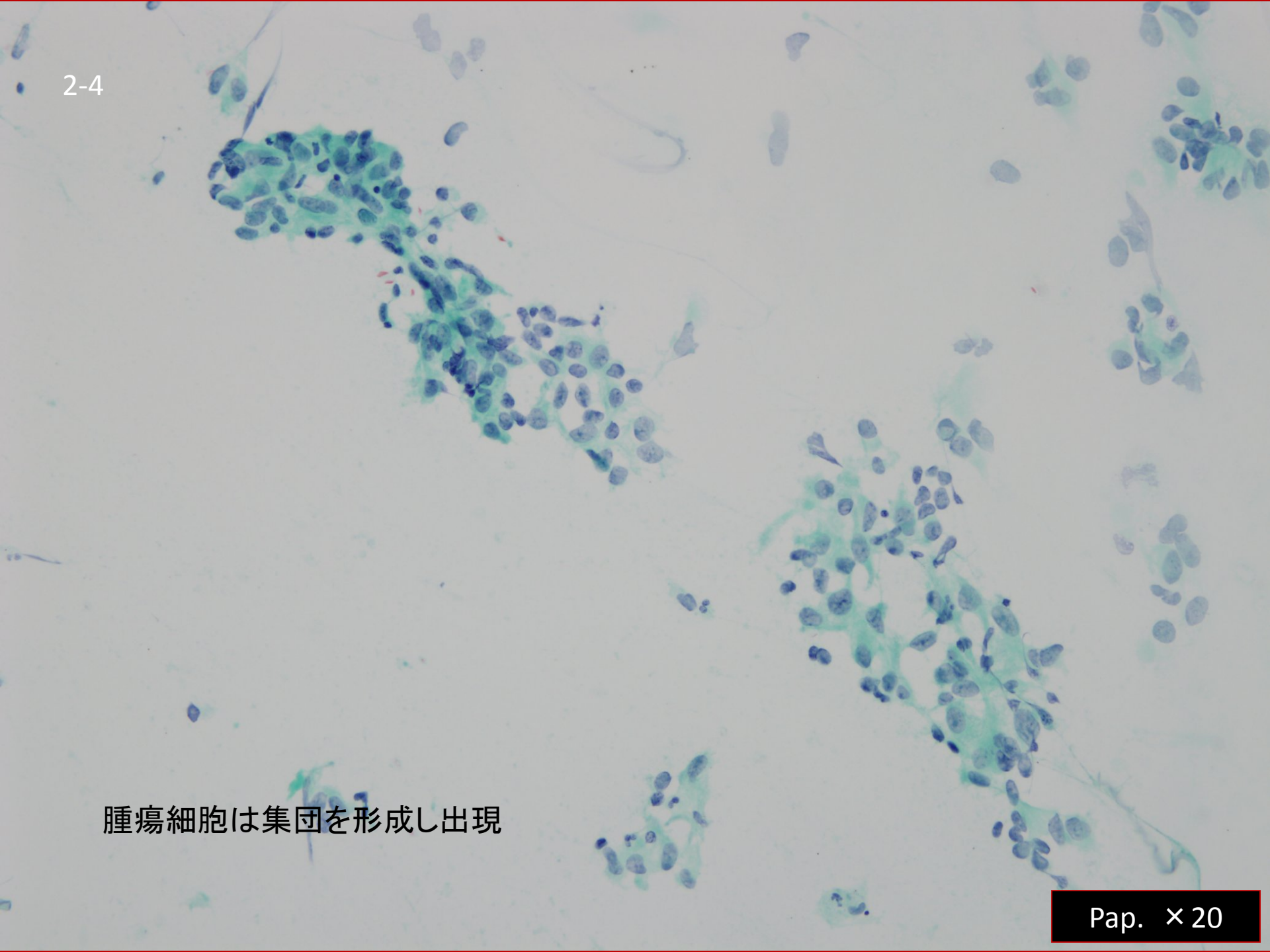
2-3



腫瘍細胞の核クロマチンは微細顆粒状で，核小体は数個みられる

D.Q ×60

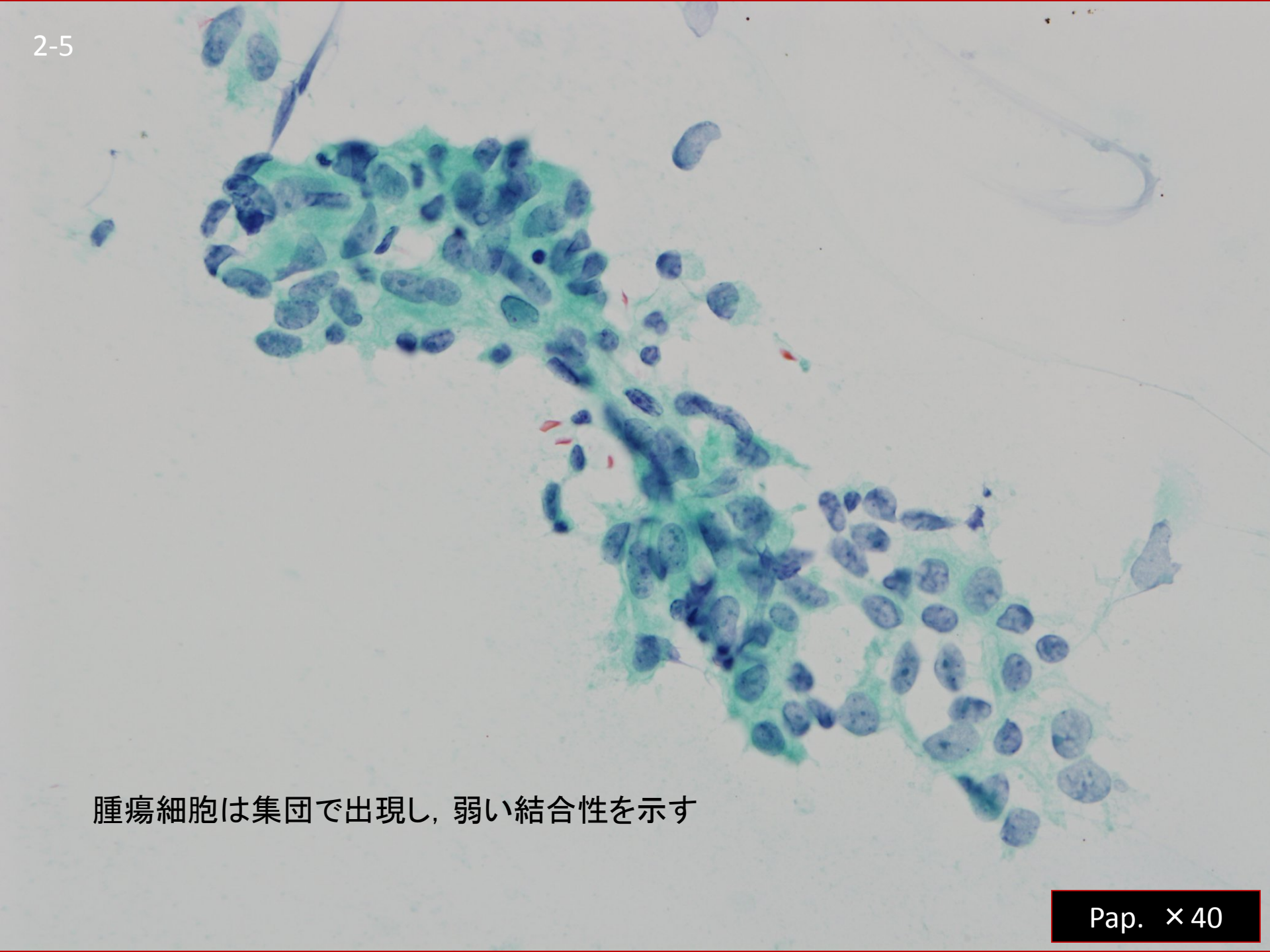
2-4



腫瘍細胞は集団を形成し出現

Pap. ×20

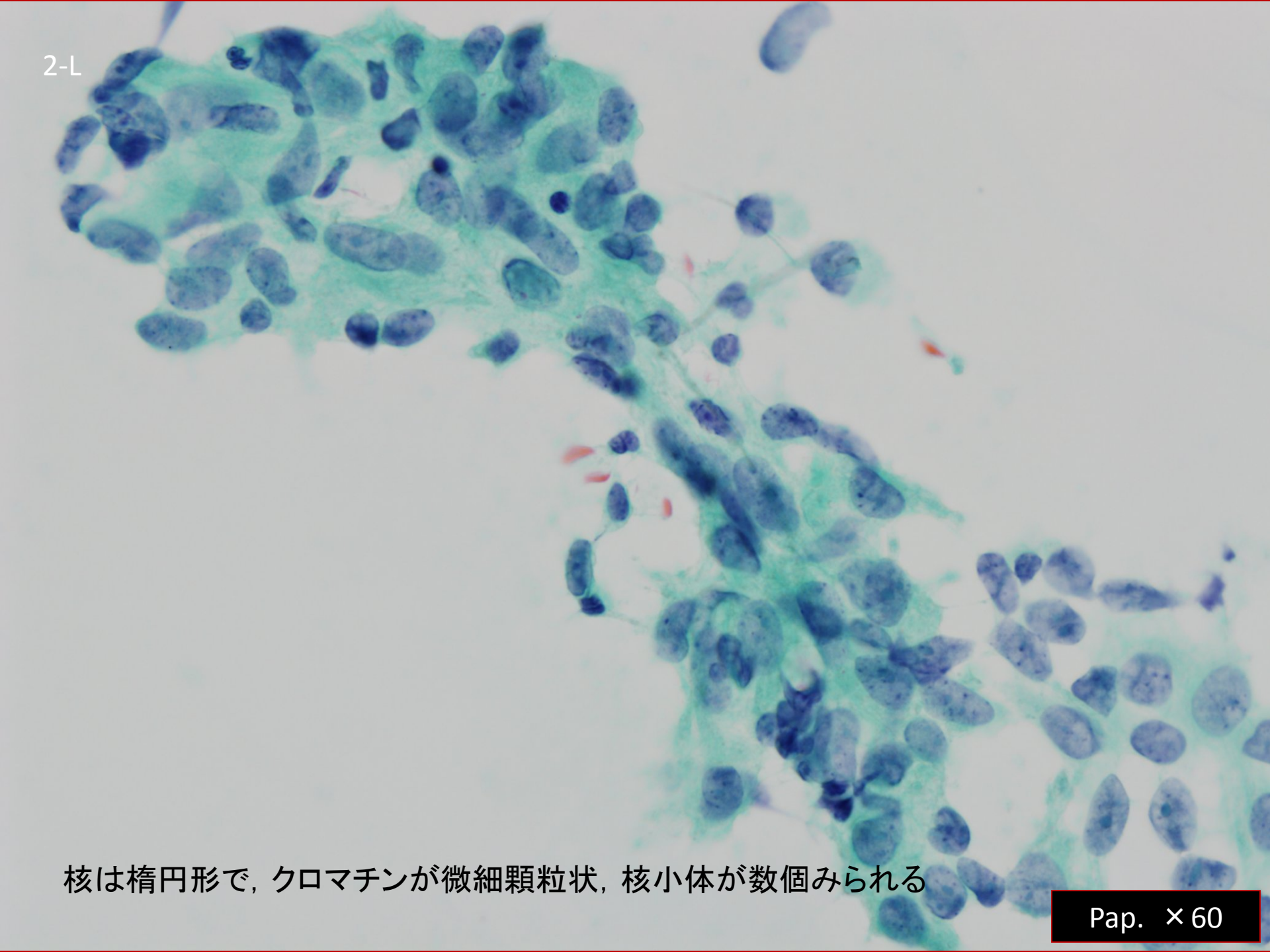
2-5



腫瘍細胞は集団で出現し，弱い結合性を示す

Pap. ×40

2-L

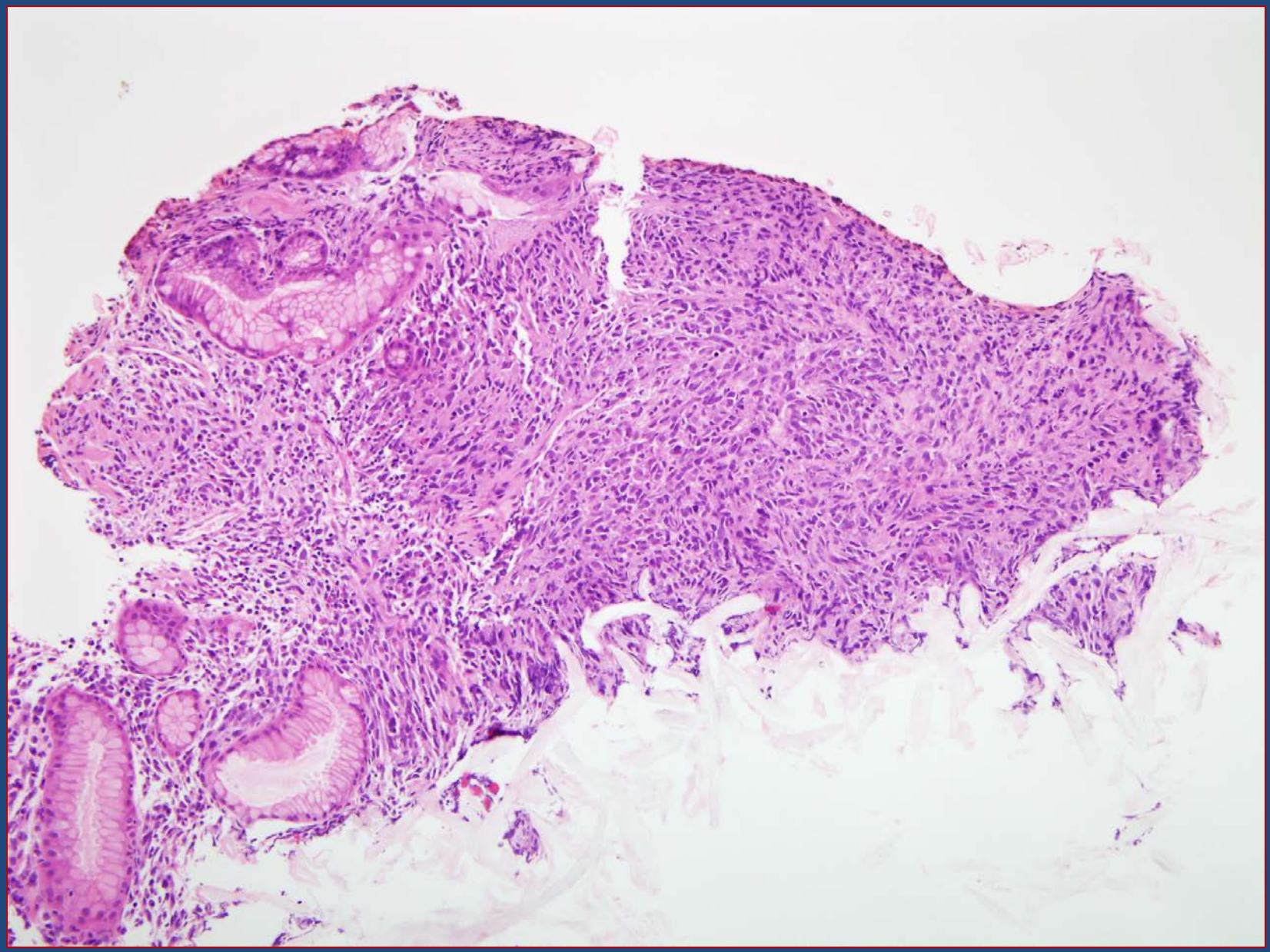


核は楕円形で，クロマチンが微細顆粒状，核小体が数個みられる

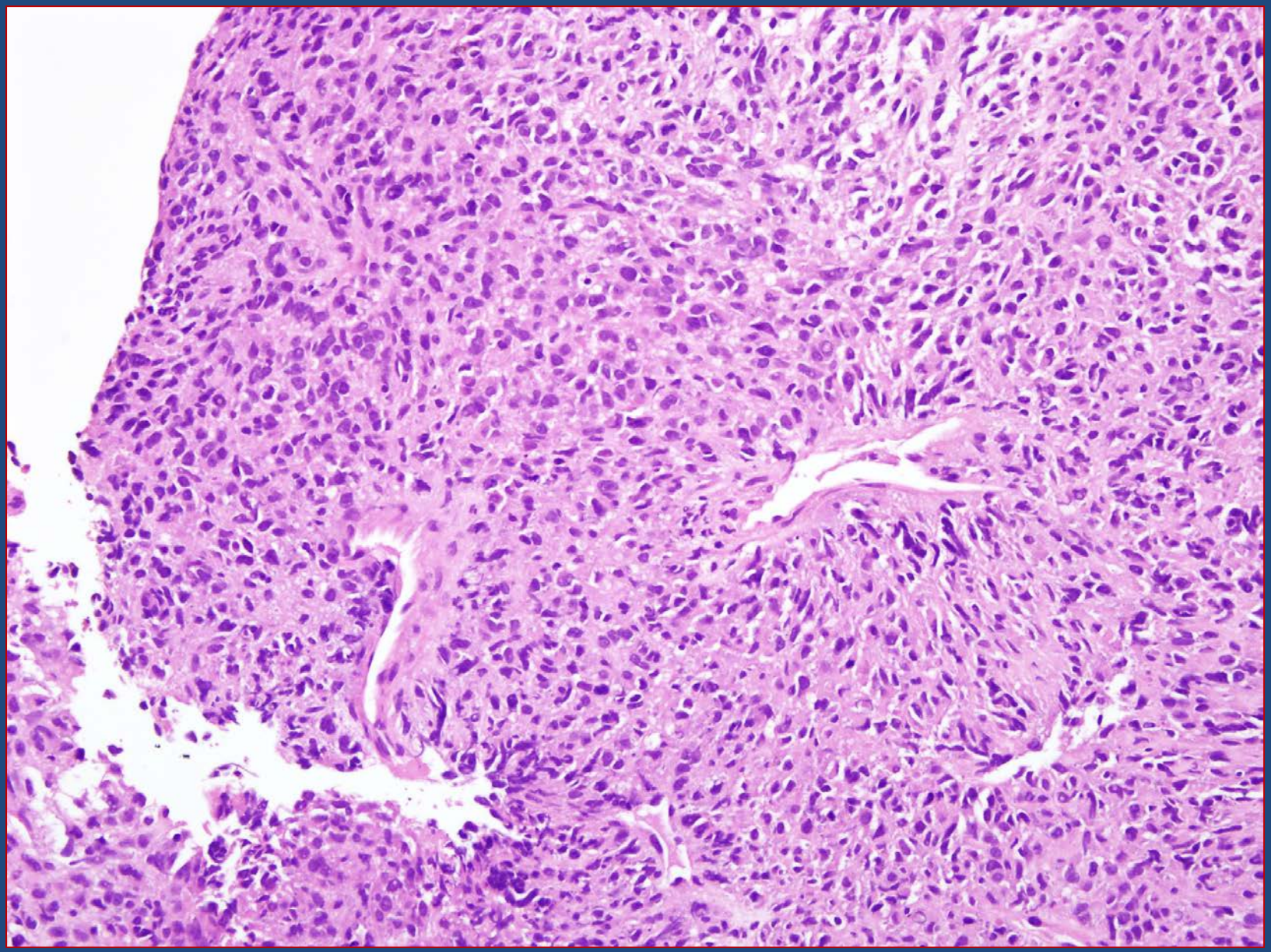
Pap. ×60

細胞診断

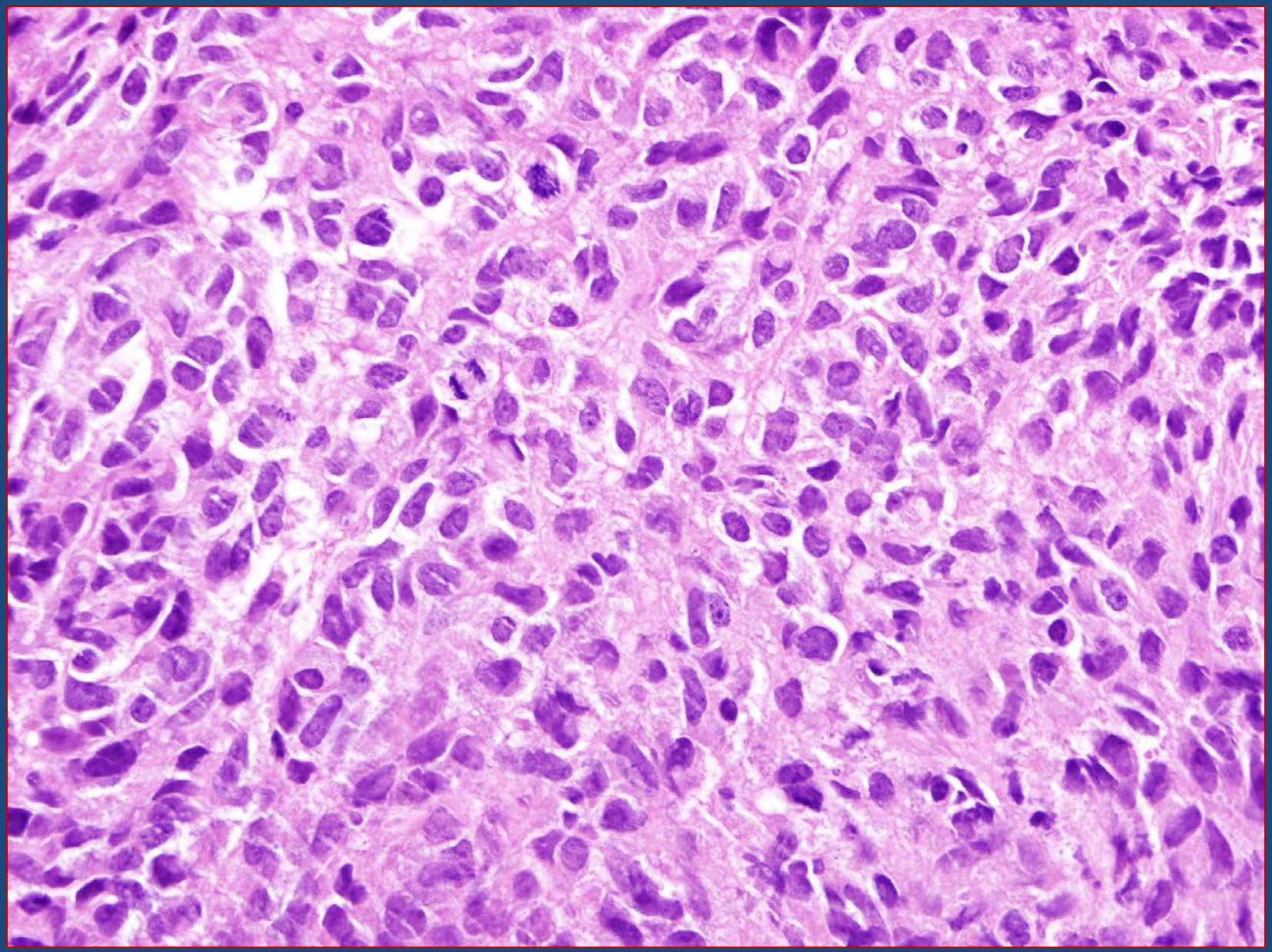
- Moderately differentiated adenocarcinoma



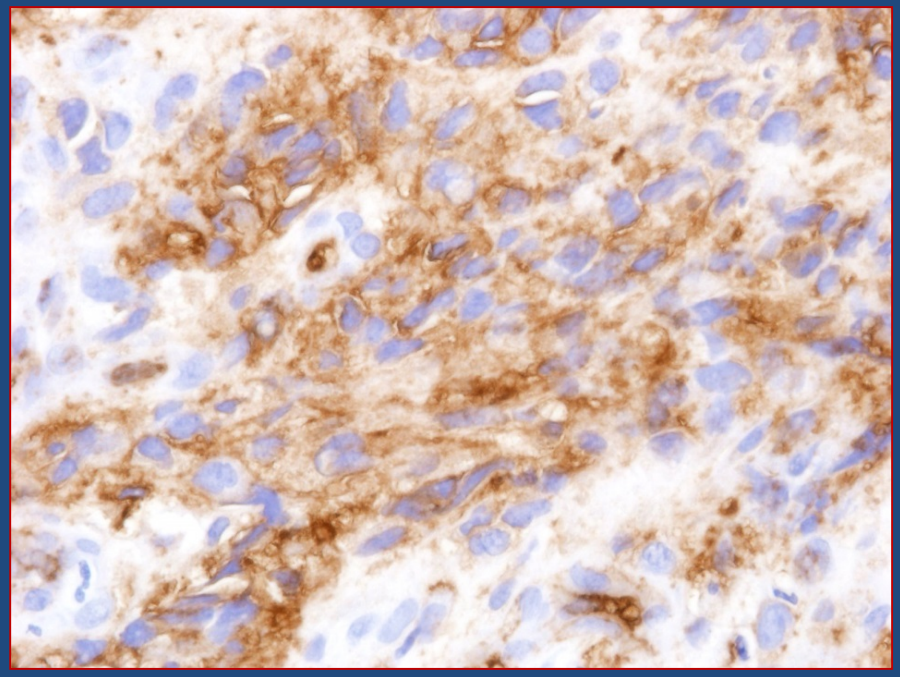
・腫瘍細胞は充実性に増殖

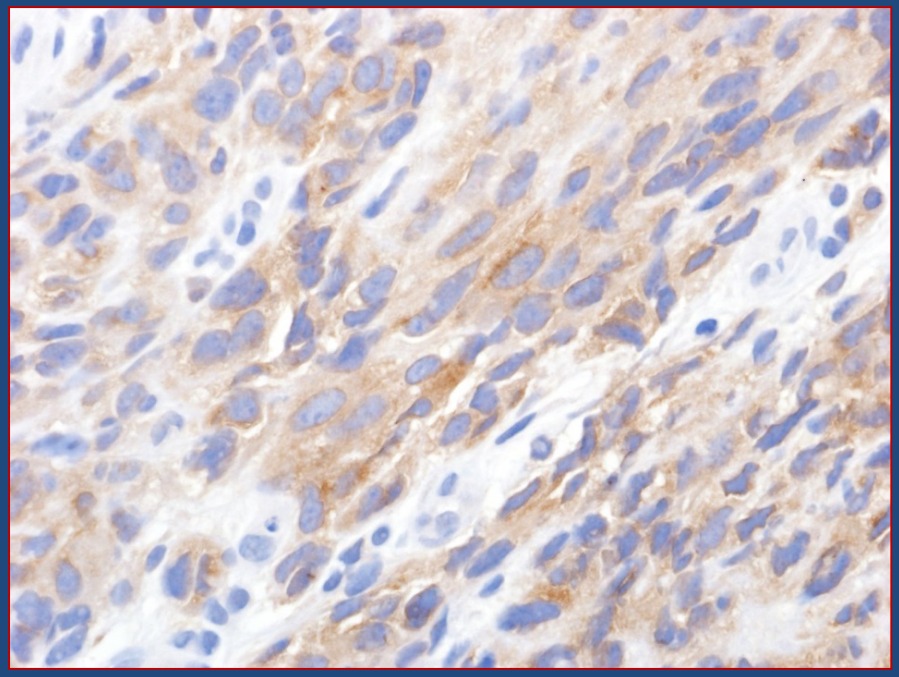


・類円形～短紡錘形細胞で細胞密度が高い



・多少の核増大があり，核分裂像も散見される

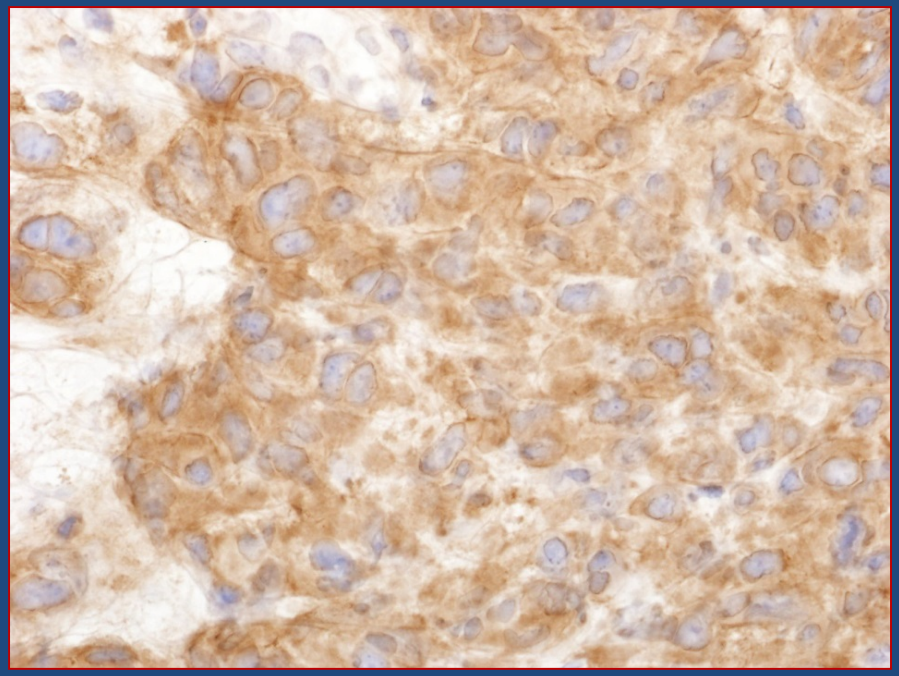


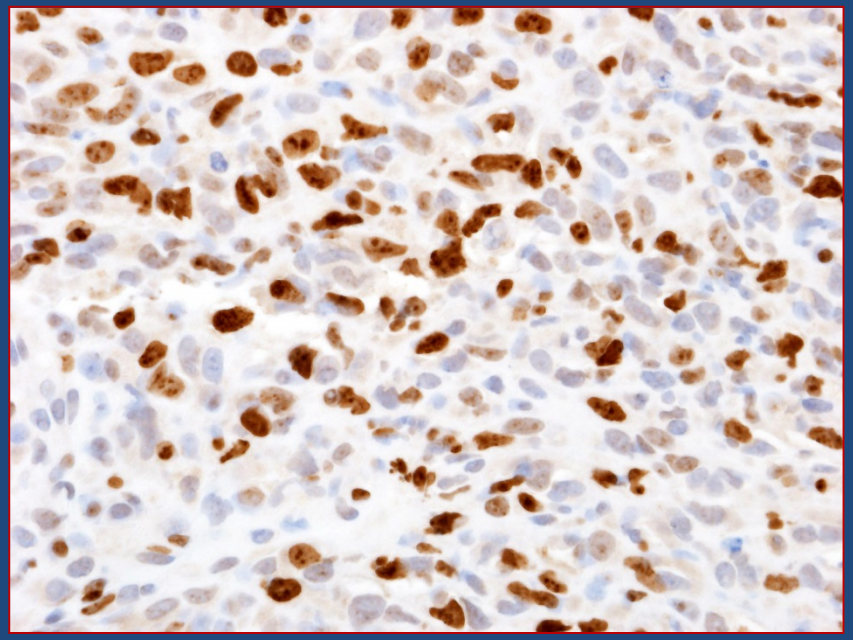


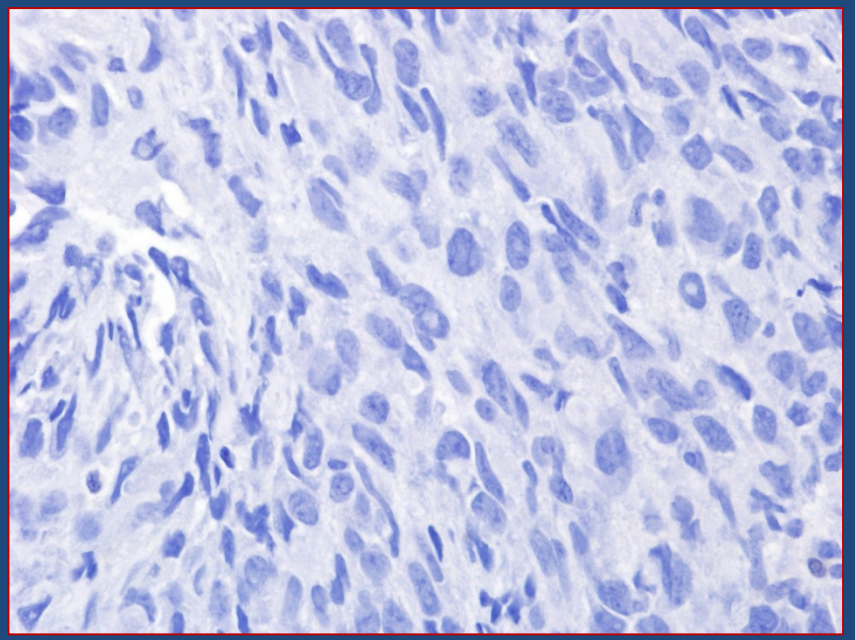
CD34

C-kit

DOG-1



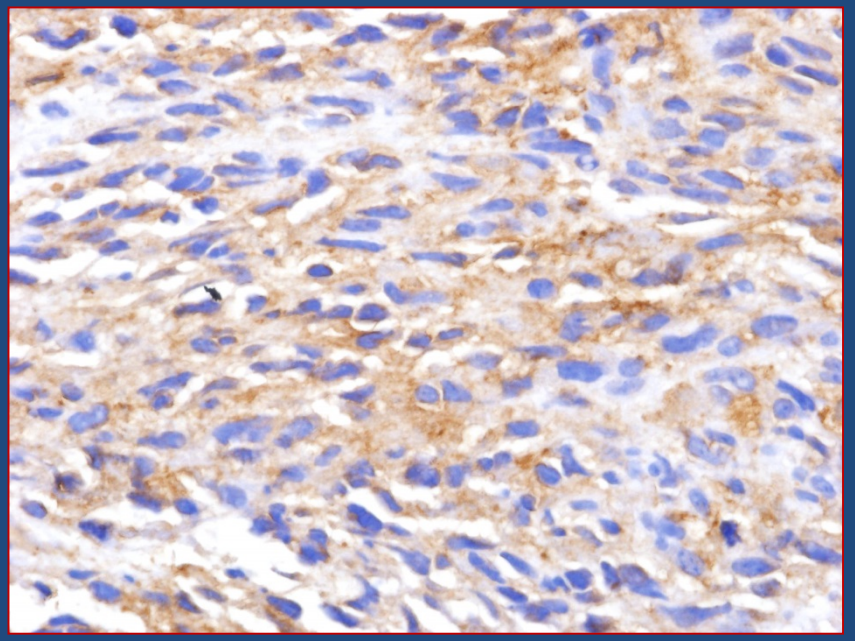




MIB-1

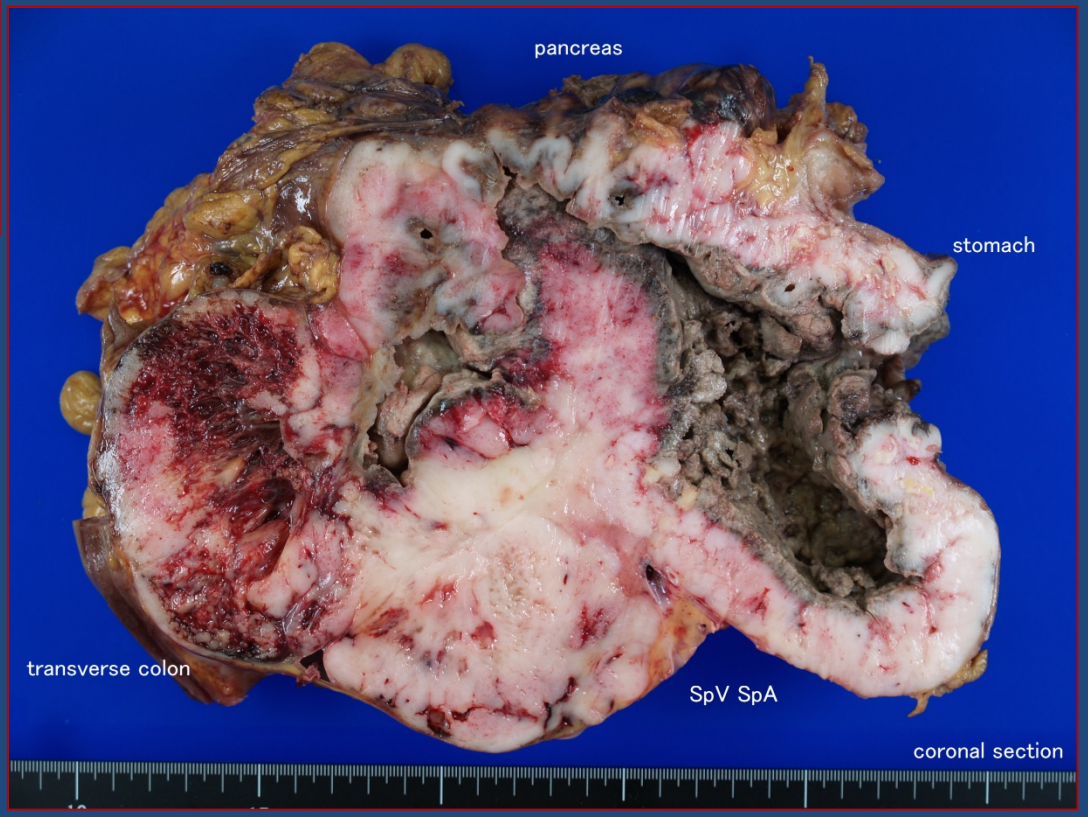
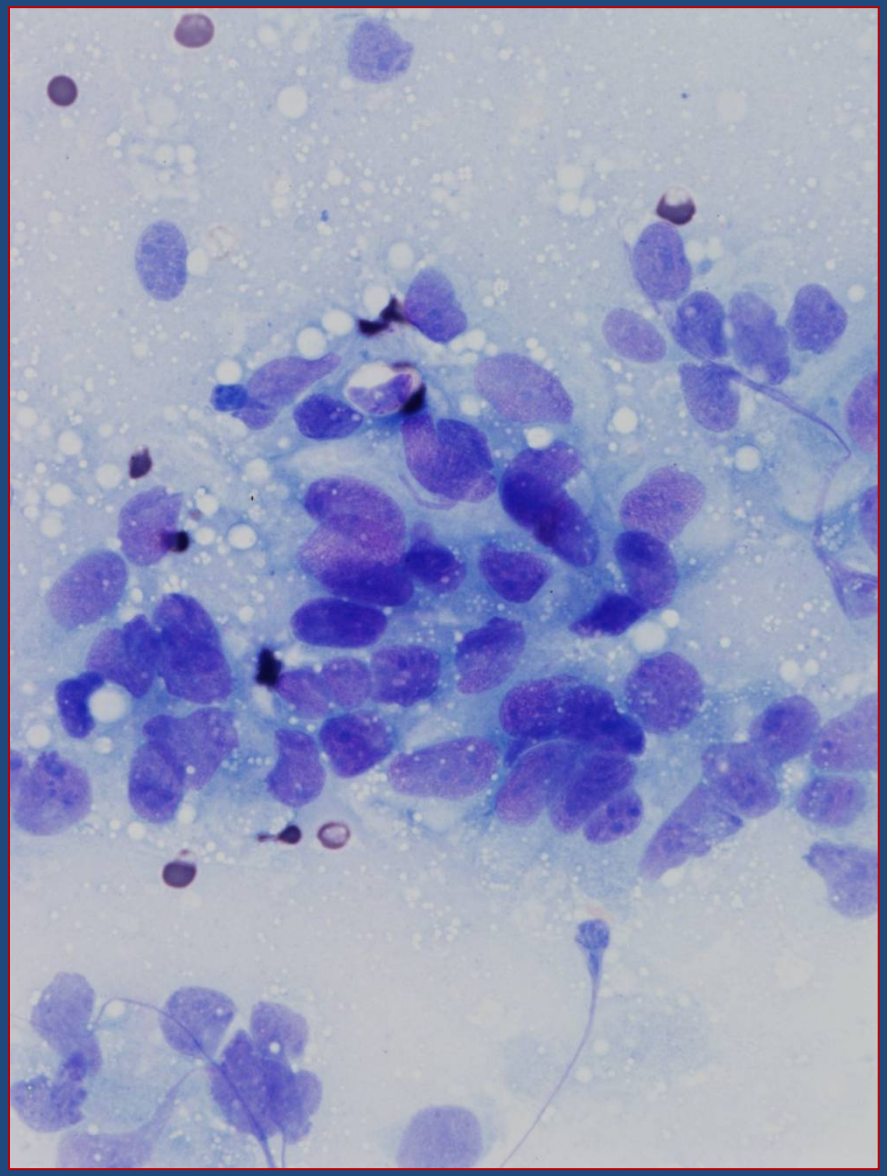
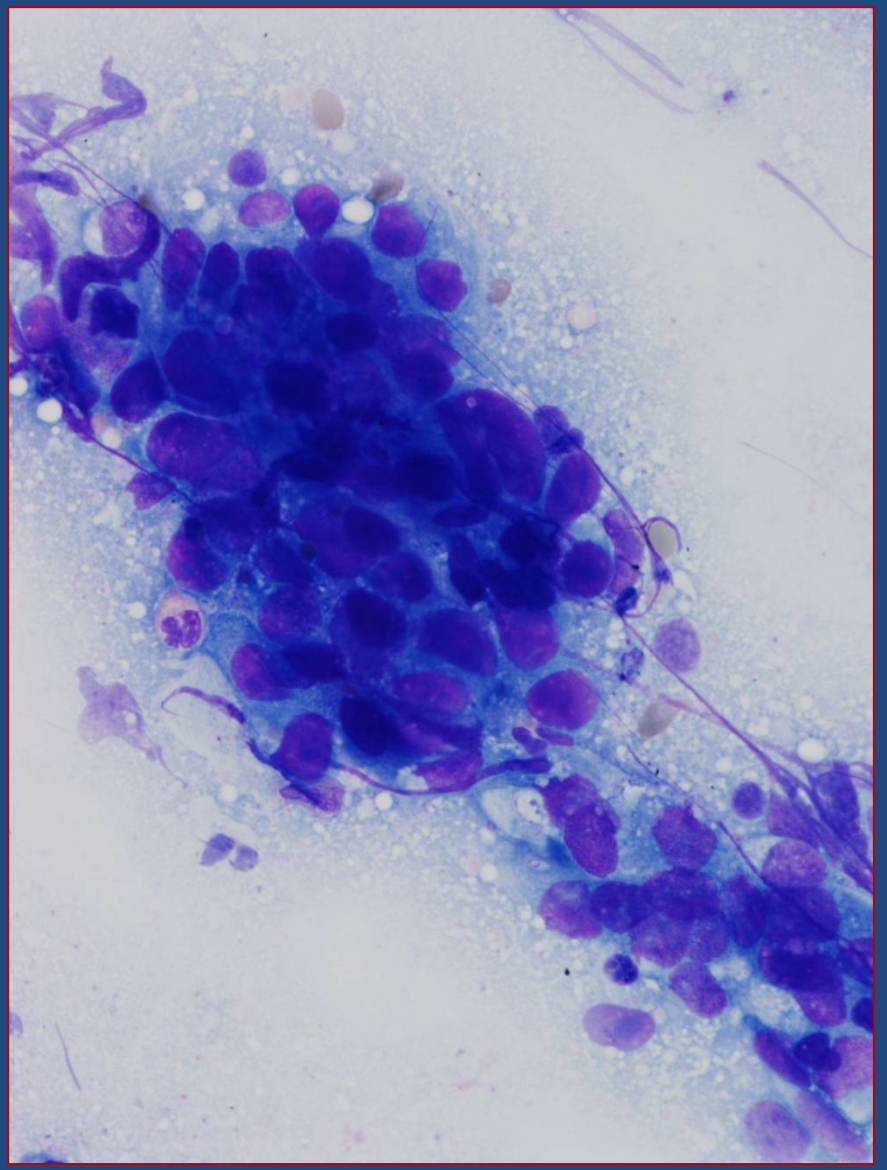
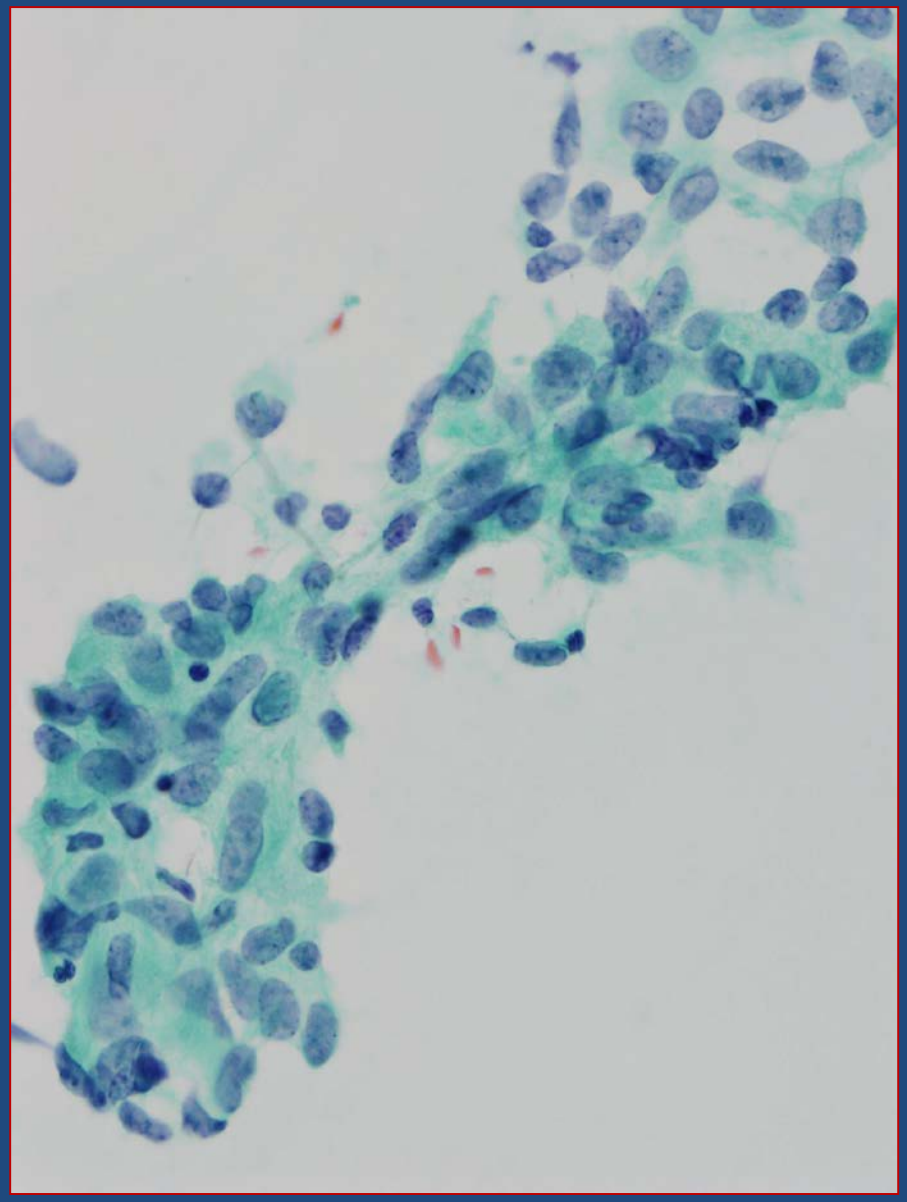
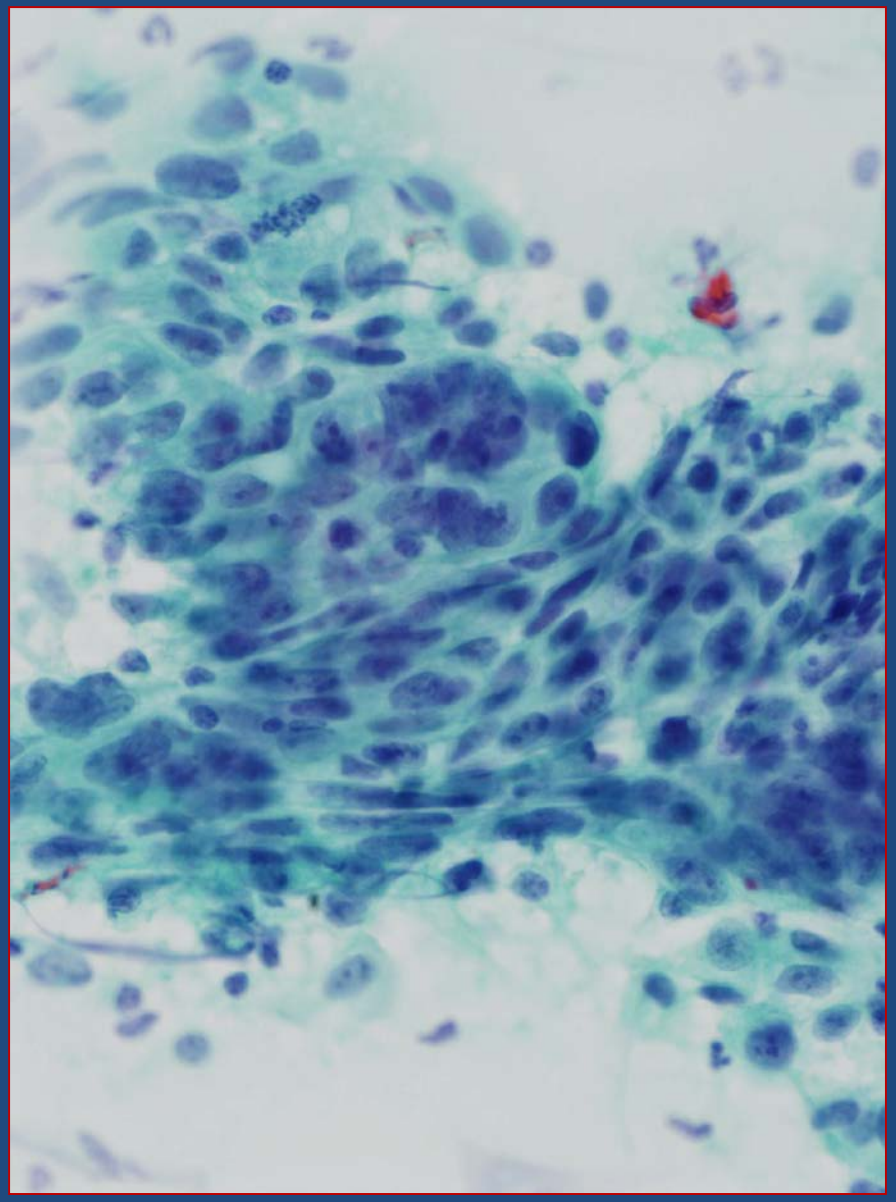
S-100

SMA



組織診断

- Gastric intentional stromal tumor


pancreas
stomach
transverse colon
SpV SpA
coronal section